

2017 2-3月号

障がい学生支援室だより

学生総合支援センター 障がい学生支援室 発行



寒さも一段落して、春の足音が聞こえてきていますね。
 今月は、最新の視覚障がい支援について、学びを深めていきましょう。

視覚障がい支援の最前線

◆ICTの進歩により広がる支援

視覚障がいの支援としては、裏面で取り上げている視覚障がい者誘導用ブロック(点字ブロック)や点字表示、拡大教科書等が思い浮かぶことが多いかもしれません。近年のICT技術の進歩にともなって、以下に紹介するようなものも含め、有用なものが増えてきています。

Windows等のパソコンOSでも、音声による読み上げが標準搭載されていたり、表示のコントラストを変えられたりする「アクセシビリティ機能」が充実してきました。今号では、最近注目が集まっているアプリについて、いくつか紹介します。

お札識別アプリ「言う吉くん」(iPhone)

硬貨は、形状で比較的わかりやすいですが、紙幣は左下に凹凸やホログラムのつるつるした部分の有無があって、手掛かりが用意されているものの、使い古されていたり、急いでいたりすると、急には識別しにくいものです。

このアプリは、どんな角度で紙幣を写しても、何円札か音声で判定してくれるものです。カメラをいちいち起動する手間もなく、様々なシーンで簡単に活用できるところがポイントです。

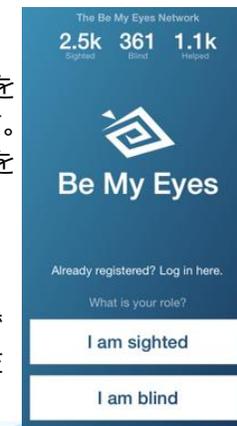


◆Be My Eyes アプリ(iPhone・android)

このアプリは視覚障がい者・晴眼者、誰でも登録を行うことができます。

視覚障がい者が、困った場面に出くわしたときにアプリを起動すれば、ランダムでどこかの晴眼者に通信が接続されます。晴眼者には、視覚障がい者が持つスマートフォンのカメラを通して周囲の状況が送信され、それを見ながら音声通信にて、視覚障がい者へアドバイスをを行う仕組みです。

例えば、自販機でコーヒーを買いたいのが、点字表示がなく、どれがどれだか分からない！という場合、このアプリの通信で自販機の映像を送ることによって、晴眼者から「上の列の左から2番目だよ！そう！今、指で触っているボタンでOK！」といったアドバイスが得られるのです。



アプリへ登録するだけで、「ほんの少しのボランティア」がはじまります。障がい者支援の専門的な知識や技能がなくても、困っている誰かを支えることができるアプリといえます。

◆このようなバリアフリーに関心のある方は…

今月号では、視覚障がいに応じた支援の最前線について、特集してきました。現在、わが国で進められている、障がい者支援やバリアフリー、情報の保障といったことについて、障がい学生支援室では、教養教育科目の中いくつか講義を設定しています。この分野に興味のある人はもちろんのこと、多様性のある社会の一員として「何か考えたいな」と感じている人は、下のようなステップでそれぞれの講義の受講をおすすめします。

- ステップ1 (基礎的なことを学びたい・興味がある)
 「バリアフリーとアクセシビリティ」各学期の火曜日 7.8 限目 (全学年受講可)
- ステップ2 (実践的なことを学びたい・学内ボランティアに関心がある)
 「障がい学生支援入門」2 学期火曜日 5.6 限目、3 学期木曜日 5.6 限目
- ステップ3 (バリアフリーに関する学内での実習にチャレンジしたい)
 「アクセシビリティ実習」各学期

※「障がい学生支援入門」を履修している必要があります。

ご紹介

3月18日は点字ブロックの日

みなさん、点字ブロック（視覚障害者誘導用ブロック）は、岡山発祥のものであることを知っていますか？ 今や世界中で目にする点字ブロックですが、元々は、1965年に、安全交通試験研究センターの初代理事長である三宅精一という方が、友人の失明をきっかけに発案・発明したものです。

その後、1967年3月18日、岡山県立岡山盲学校に近い国道2号(現：国道250号)原尾島交差点周辺(現：岡山県岡山市中区)に世界で初めて敷設されました。

それに由来して、3月18日は「点字ブロックの日」(日本記念日協会が認定)とされています。

点字ブロックは大変有益なものですが、点字ブロックの上に自転車や物が置いてあったり、点字ブロックの上で、人が立ち話をしていたりすると、点字ブロックの利用者が怪我をするものになってしまいます。そのような事故を減らすよう、岡山市の有志の団体が、「点字ブロックの上に物を置かないで」の取り組みを始め、ステッカー配布など、全国に広がっています。



岡山大学近くにある自動販売機



岡山市内にある道路標識

このたび、岡山大学津島キャンパスでは、南北道路を中心に、点字ブロックが敷設されることとなりました。みなさんも、点字ブロック利用者の妨げとならないよう、心がけましょう。

報告

ボッチャ体験会

2月13日(火)に教育学部体育館でボッチャ体験会を開催しました。ボッチャは、パラリンピックの正式種目に認定されているスポーツで、カーリングと似ていることから「地上のカーリング」「床の上のカーリング」とも呼ばれています。

このイベントは、教養教育科目「アクセシビリティ実習」の授業内容の一環として、履修生の9名が企画し、スタッフとして当日の運営まで行ってくれました。

当日は、スタッフが今回の為に考案した独自のルールを用い、参加者、スタッフ合わせた計14名でボッチャを楽しみました。



ノートテイク（NT）養成講座

- 日 時：平成30年3月29日（木）14:00～（90分程度）
- 場 所：お申込みくださった方には、追って個別にご連絡いたします。



ノートテイクとは、聴覚に障がいをもった学生の両脇で2人一組になり、講義内容や先生のお話をノートパソコンを使用して伝えることです。(手書きの場合有)

※ノートテイク手当(1時間：1,000円)を支給

申込方法

障がい学生支援室 (shien-dr@okayama-u.ac.jp)まで「氏名・学部・学科・学年(新学年) 学生番号・電話番号」をお知らせください。

授業の空き時間を有効に活用してみませんか！ タイピングの得意な方、理系の学部生・院生 急募！

岡山大学
学生総合支援センター
障がい学生支援室

- 【場 所】 一般教育棟D棟1階
- 【開設時間】 月～金：10:00～12:00 / 13:00～17:00
- 【連絡先】 086-251-8553 (支援室受付)
- 【E-mail】 shien-dr@okayama-u.ac.jp

